

# サステナビリティ経営方針

2026年3月

有限会社東昇工業

代表取締役 原島 利和

# サステナビリティ経営方針

## 世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。

また、近年、SDGsへの関心の高まりなど、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

## 当社事業の意義

当社の事業は建築物やインフラの安全性を支えています。鉄筋工事は品質と安全が不可欠であり、「安全第一」の理念のもと、全従業員が安全意識を持って作業環境の整備に努めています。高い技術と安全管理でお客様の信頼に応え、持続可能な社会づくりに貢献しています。

## 今回の検討結果

当社はこれまで、安全管理や地域社会との連携等に関する取り組みを進めてきました。一方、事業継続の観点からはこの強みを向上するべく、従業員が健康で生き生きと働ける職場環境の整備や、省エネ機械導入等の環境配慮の取り組みも重要と考えています。こうした課題を解決すべく今回4つのマテリアリティを設定し、重点的に取り組んでまいります。



無事故無違反の  
徹底



健康経営の推進



零細・中小企業  
の繁栄



環境負荷の低減

# サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

## 無事故無違反の徹底



KPI(目標と指標)

労働災害件数ゼロ件の継続

選定理由

労働災害の防止に取り組むことは、従業員が安心して作業できる環境を整備するだけでなく、対外的な信用の維持が期待されることからマテリアリティとして選定

アクションプラン

- ・ 危険予知運動(KY運動)の徹底
- ・ 事故が発生した場合には社内で原因分析を行い、再発防止策を策定する

取組効果

- ・ 従業員の安全確保
- ・ ステークホルダーからの信頼向上



マテリアリティ

## 健康経営の推進



KPI(目標と指標)

2030年までに「健康経営優良法人」の認定を取得

選定理由

従業員の健康を維持することは、事業の継続に資する取り組みであり、従業員のモチベーション向上や労働災害の防止が期待されることからマテリアリティとして選定

アクションプラン

- ・ 健康診断結果のフォローアップを行う
- ・ 健康づくりに関する情報の提供

取組効果

- ・ 従業員の健康維持
- ・ 従業員のモチベーションの向上
- ・ 生産性の向上
- ・ 労働災害の防止



# サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

## 零細・中小企業の繁栄



KPI(目標と指標)

2026年度以降パートナー企業を毎年1社ずつ増やす

選定理由

パートナーシップの拡大により、技術力やサービスの幅が向上し、環境・社会課題への対応力が強化され、当社およびステークホルダーの持続的な成長に寄与することから、マテリアリティとして選定

アクションプラン

- ・ 既存パートナーとの関係強化と紹介促進
- ・ HP改定によるマーケティング活動の強化

取組効果

- ・ 技術力・サービス品質の向上
- ・ 事業の安定性・拡大
- ・ ステークホルダーからの信頼向上



マテリアリティ

## 環境負荷の低減



KPI(目標と指標)

2027年までに、中小企業版SBT認証を取得し、以降認証を維持・継続する。

選定理由

省エネ機械の導入や温室効果ガス排出量の算定等社会共有の課題である環境負荷低減に取り組むことは、持続的な成長を実現するために重要であることから、マテリアリティとして選定

アクションプラン

- ・ 保有車両をハイブリット・EV車への切り替え
- ・ 省エネ機械の導入
- ・ 温室効果ガス排出量の算定

取組効果

- ・ 大手取引先との関係強化
- ・ 企業価値の向上

